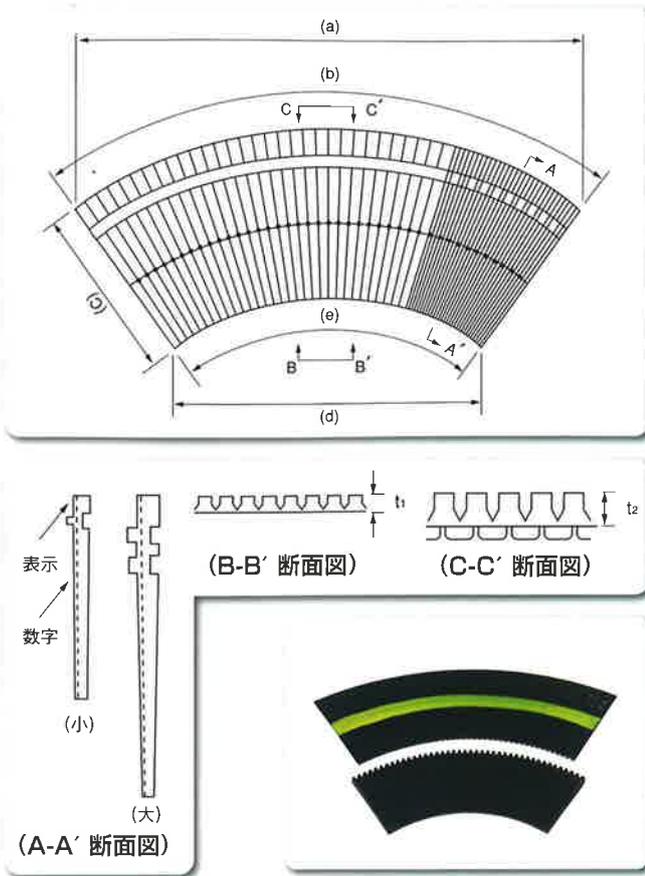


## 電線管用 幹線支持ケーブルストッパー (扇型)



高層ビル内の垂直幹線管に入るケーブルを適度な間隔において把握支持し、電線のクリープ疲労を防止するために使用します。

### ■施工法 (支持間隔は6m以内)

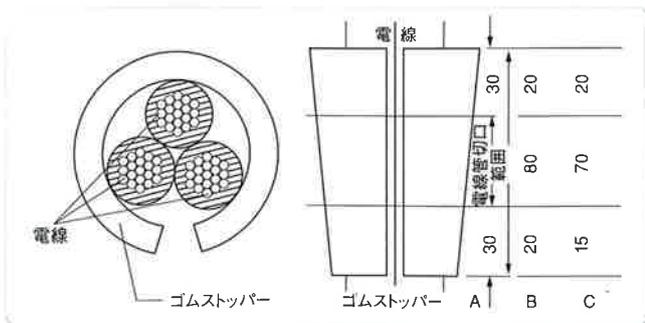
- ① (テープ) (電線)  
電線をテーピングする。
- ② (テープ) (垂直幹線支持材)  
パイプのサイズと電線サイズより適度な長さに切断あるいは補充する。
- ③ (テープ) (インシュロック) (テープ)  
巻き終わったら下部をテーピング後インシュロックで仮止めする。
- ④ (テープ)  
ストッパーを電線に沿ってずらし手で管内に入れる。
- ⑤ (テープ)  
木づちで黄色線まで打ち込む。
- ⑥ (テープ) (インシュロック) (インシュロック)  
インシュロックで動かめように締め付ける。

最大荷重測定値 **136kgf~200kgf**

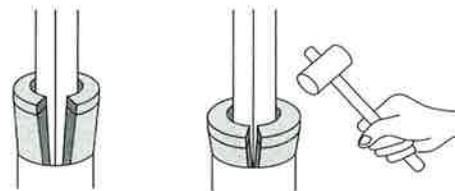
型番	各部の寸法(mm)						
	a	b	c	d	e	t1	t2
KY-大	465	504	150	291	315	6	12
KY-小	310	330	100	194	210	4	8

●大・小2種類ですべての電線管及び、電線、ケーブルに適用できます。

## 電線管用 幹線支持ケーブルストッパー (筒型)



### ■ゴムストッパー施工例



設置取り外しが簡略であり、外被の硬質樹脂フィルムがクサビ状ゴムストッパーの管内挿入を容易にし、ケーブルの工事中損傷を防ぎます。

型番	高さ	各部の寸法(mm)				適用管呼称(mm)	適用電線600V CV-T
		外径		内径			
		最大	最小	開	閉		
A-50	100	84	66	50	44.1	75	150
A-44	100	84	66	44	38.4	75	100
A-37	100	84	66	37	31.7	75	60
B-44	80	70	56	44	38.4	63	100
B-37	80	70	56	37	31.9	63	60
B-30	80	70	56	30	25.1	63	38
C-37	70	57	45	36.5	31.4	51	60
C-30	70	57	45	29.5	24.7	51	38
C-25	70	57	45	24.5	19.9	51	14 22

●ケーブル外径が上表内径の開と閉の範囲のゴムストッパーをご使用下さい。

